

<p>学校だより</p> 		<p>教育目標 やさしさ つよさ たくましさのある さくら小の子</p>
	<p>令和8年 6月号 6月1日発行</p>	<p>大島町立さくら小学校 〒100-0102 大島町岡田字長坂 113 電話 04992-2-8021 ファクシミリ 04992-2-8853 E-mail <a href="mailto:02T000@izu-oshima.ed.jp">02T000@izu-oshima.ed.jp</a>  <input type="text" value="大島町立さくら小学校"/> <input type="button" value="検索"/></p>

## 「多様な視点」で

校長 野澤 啓幸

先日参加した、人権関連の講演会で講師から、SNS等、ネットによる投稿により、他人を傷つけてしまう件が増加しているという話を聞きました。投稿した動機として、「正当な批判・論評だと思った」が最も多く、「感情の発散」、「嫌がらせ」を大きく上回っているそうです。自分では正しいと思っていること、更に匿名性が高いことで表現も直接的になることに加え、「真偽不明の情報を真実だと思い込んで」という後追いの動機の投稿がさらに広がる状況が生まれており、それは、知らない相手やことに対してより強まるので、多様な視点でものを見る(考える)習慣が必要になるということでした。

これは、匿名性の高いネット上のことだけではなく、お互いによく知っている(と思っている)学校での人間関係にも言えることで、「自分はこう思うから、相手も同じように思っていると思った。」「〇〇がこう言っていたから…」といったことがトラブルの原因になることもあります。引き続き、子供たちが多様な視点から物事を知る(知ろうとする)指導を充実させることで、教育目標「やさしさ」の高い次元での実現を目指します。

東京都は、6月、11月を「ふれあい月間」と定め、いじめ防止に向けた様々な取組を重点的に行っています。本校でも、今月、以下のような取組を行います。

- ・生活意識調査 ふれあい月間に実施するアンケートの1回目です。
- ・リーフレットの配布 不安や悩みをひとりで抱え込まないための啓発資料、相談窓口の紹介

そして、6月27日(土)は、学校・家庭・地域が一体となって子供たちの豊かな心を育み、道徳教育の充実を図ることを目的とした道徳授業地区公開講座を開催します。各学級の道徳の授業では、お互いの考えや気持ちを知り、人としての生き方・在り方等について多角的に考えを深め、「自分ならどうするか」、テーマを自分ごととして捉えます。また、今年度PTAと共催させていただく公開講座では、パラアスリートをお呼びして、交流・体験活動を行い、他者理解を深める機会となればと思います。ぜひ、ご来校いただき、子供たちの様子をご覧ください。

## 6月の生活目標 ~雨の日の過ごし方を工夫しよう~

6月 生活目標担当

明日の天気は雨です——。天気予報を見ていてこの言葉が聞こえると少し憂鬱な気持ちになる人もいるのではないのでしょうか。6月に入ると梅雨となり、雨の日も多くなります。雨の日には危険も潜んでいます。子供たちには雨の日の過ごし方、そして雨の日のキーワードについて話をしました。

雨の日は外で遊べない。雨の日は滑りやすい。雨の日は暗い気持ちになりやすい。マイナスな言葉が多く浮かびます。そこで意識してほしいのが『だからこそ』です。外で遊べない、だからこそいつもより本を読んでみよう。滑りやすい、だからこそ気をつけて歩こう。暗い気持ちになる、だからこそいつもより笑顔で明るく過ごしてみよう。

『だからこそ』はマイナスをプラスに変えられる魔法の言葉です。この機会に、前向きに物事を考えるきっかけとなるよう、『だからこそ』をキーワードにしてほしいと思います。

さくら小学校行事予定は、さくら小学校ホームページからご覧ください。  
年間行事予定及び月ごとの行事予定は、前月の中頃まで掲載します。



# さくらまるごとカフェ2026

研修担当

5月8日(金)、「さくらまるごとカフェ2026」を開催しました。今年も多くの方にご協力いただき、無事に開催できました。ご参加くださりまして、ありがとうございます。

今年も生活、伝統文化、環境、食、まちづくり・キャリアの5つブースに分かれて行いました。大島について様々なテーマから学びを深め、実り多い話し合いを行うことができました。1・2年生では生活、3～6年生では総合的な学習の時間における内容の充実に努め、子供たちが大島をもっと好きになり、学びを楽しめるようにしていけたらと思っています。

5年生では「食」についてテーマをしぼり、地域の方々から知識や思いを伺うことができました。教職員や子供たちだけでは、明日葉や牛乳煎餅、島寿司、塩などの食品についての名前は上がるものの、そこから話を広げていくのが難しい印象でした。しかし地域の方々から話を伺うと、食材を育てることや作ること、製法、歴史的背景、現代の課題など、「食」をテーマに様々な視点へ広がっていき、子供たちへ提供する学びの種をたくさんいただくことができました。食材を「育てること」に焦点を当てると、大島での自給自足について、突き詰めて考えることができました。肥料はどうするのか、土はどうするのか、それは島外から購入をするのか、肥料を作るところから始めるのか等、課題や検討しなければならないことが多くあり、驚きました。教職員や子供たちだけでは深めることができないところまで、考えを巡らせることができました。この地域の方々の知識や思いを、責任をもって子供たちへ伝え、還元していかなければと思いました。

他の学年も、地域の方々の子供たちに対する温かい気持ちや、熱い期待を感じることで、充実した話し合いが行われました。「さくらまるごとカフェ」をきっかけにして、どんな学びの広がりが見られるか楽しみです。



## 全校遠足「南部めぐり」

遠足担当

子供たちの『楽しみ』という気持ちが空に届いたように、4月28日(火)は気持ちの良い晴天となり、全校遠足を実施することができました。

今年『南部めぐり』として、スマさく班でウォークラリーをしました。6年生の班長が先頭に立ち、南部のマップを見ながら協力して進み、どの班も時間内にゴールのトウシキ園地までたどり着くことができました。子供たちは普段過ごしてる北部とは違う南部の様々なスポットを巡り、新鮮な気持ちで遠足を楽しんでいました。お弁当のご用意などの準備をしていただき、ありがとうございました。



## ～移動教室での学び～

6年担任

5月13日～15日の3日間、行きも帰りも出帆港が元町港という素晴らしい天気恵まれ、6年生は移動教室に行ってきました。

行く前に、なぜわざわざ島外に行ってお勉強するのか、何を学ぶのかということについてクラスで話し、各々が普段の教室での学習とは違う目標をたて、移動教室に臨みました。

都内では8カ所を見学し、税金のことや歴史のこと、オリンピックのことなどを体験的に学んできました。疲れている様子のお子さんもいましたが、見学場所に着くと自然と体が動いてしまうほど知的好奇心・意欲が高く、どの施設もしっかりと学ぶことができました。疲れているとイライラしてマイナスの言葉を使ってしまうたり、譲れなくなったりすることがありますが、みんなで励まし合いながら、マイナスな言動をしないように気を付けて活動することができました。

2日目の夜は時間がたっぷりあったので、班長会で「クラスの中をもっと深めたい」という意見が出て、みんなで友達の良いところを言い合うというすてきな活動を急遽入れました。とても盛り上がり、クラスの中が一段と深まり、思い出がまた一つ増えました。4月から委員会・クラブ・縦割り班等、下学年をサポートしたりリーダーシップを発揮したりと、学校のために活動する時間が多かった6年生ですが、移動教室では学校を離れ、自分やクラスの課題だけに向き合うことができる充実した時間でした。

大島に戻ってきてからの学習にも今まで以上に前向きに取り組む姿勢が見られています。この学びや経験を活かし、ぐんぐん成長していく6年生を頼もしく思います。

